



# 大分の青少年

第43回 ー今、中学生が訴えたいことー

## 少年の主張

大分県大会



第43回を迎えた今大会には、県内30校から2,297作品の応募がありました。8月20日、中津文化会館で開催された大分県大会では、第1次、第2次審査を経て選ばれた10人の中学生が堂々と主張し、それぞれの心からの思いや未来への提案が詰まっていました。

大会発表者作品	<b>最優秀賞</b> <b>「祖母の教え」</b> 菅 朱李 竹田市立竹田南部中学校2年	<b>優良賞・共感賞</b> <b>「郷土に誇りを」</b> 伊藤 彩音 中津市立本耶馬溪中学校3年
	<b>優秀賞</b> <b>「明日を望める世界」</b> 岩下 真理華 九重町立このえ緑陽中学校1年	<b>優良賞</b> <b>「今しかできない闘いの中で」</b> 青山 竜也 佐伯市立佐伯南中学校3年
	<b>優良賞・大分県教育長賞</b> <b>「届け！万羽鶴に込めた願い」</b> 村松 奨太 臼杵市立西中学校3年	<b>優良賞</b> <b>「ピンチはチャンス」</b> 阿南 未来 竹田市立竹田南部中学校2年
	<b>優良賞・大分県教育長賞</b> <b>「この矛盾のなかで」</b> 永富 美希 竹田市立直入中学校3年	<b>優良賞</b> <b>「人生は一度きり」</b> 藤原 陽人 九重町立このえ緑陽中学校2年
		<b>優良賞</b> <b>「命は孤独ではない」</b> 峯野 愛叶 竹田市立直入中学校3年
		<b>優良賞</b> <b>「私が歌う意味」</b> 矢野 凜 臼杵市立南中学校2年

### 作品介绍 第43回「少年の主張大分県大会」最優秀賞

#### 祖母の教え

竹田市立竹田南部中学校2年  
菅 朱李



私はこの夏、祖母から忘れられない話を聞き、深く考えさせられました。

それは、七十八年前の戦時中のことです。兵士として戦場に行った家の人手不足を補うため、田植えや稲刈りなどの農繁期に、「勤労奉仕」として子どもたちは農作業に行くのが役目でした。当時小学二年生だった祖母も、上級生のお姉さんに連れられて、毎日あちこちの家の田植えに行っていたそうです。

その日の田植えは、朝鮮人の夫婦が借りていた田んぼで、ご主人は日本兵として戦地に行っているということでした。田植えが終わる頃、奥さんが背中に赤ん坊を背負い、幼い子どもの手を引きながら出てきました。小豆の入った米のおにぎりをかごにいっぱい差し出しながら「ありがとうございます。ありがとうございます。おかげで田植えが終わりました。どうぞ食べてください。」と、頭を下げました。

当時、米や小豆は大変貴重でめったに手に入るものではありませんでした。その方は、精一杯の感謝の心を尽くしてくださったのです。

ところが、

「朝鮮人のまんま、いらんよ！」

上級生が吐き捨てるように叫ぶと、皆を引き連れて逃げ出したのです。祖母は、その方の目に涙がいっぱい浮かんでいるのを見たそうです。『ああ、おにぎりを食べてあげたい。おいしいと言ってあげたい。』そう思いながらも、立ちつくしていた祖母に上級生は「早うおいで！」と強い口調で呼びました。祖母はどうすることもできず、心の中で「ごめんなさい」と言って皆のいる方へ走って行ってしまったそうです。日頃、笑顔しか見せない祖母の目には涙

がにじんできていました。祖母は、七十八年たっても自分がしたことを悔やんでいるのだと、その人の涙を忘れないでいるのだと思いました。同時にそれは、祖母の相手を思う優しさだと思いました。

私はたずねました。

「ばあちゃんはどうして皆みたいに朝鮮人を馬鹿にしなかったの？その人の涙に気づけたの？」

「当時朝鮮は日本の植民地で子どもでさえも朝鮮人を馬鹿にしとった。ある時、近くに住んでいる朝鮮人の家に子どもたちが、『この朝鮮人！』と言って石を投げつけていたんじや。それを見た私のばあちゃん、朱李のひいひいばあちゃんになる人がな、『あの人は何も悪いことをしちやらん。日本に来て一生懸命働きよる。そんな人を粗末にしたらいかん。どんな弱い立場の人も見下して悪いことをしてはならん。そんなことをしたらお前を家に入れん。ご飯も食べさせん！』と言ってな。だから私も気が付いたんやろうなあ。実際、あの時のことを後々、一緒におった友達に話しても誰も覚えとらんかった。」

私は小学生のころに受けたいじめを思い出しました。遠足での一人ぼっちで食べるお弁当の味け無さ。エスカレートしていく嫌がらせ。無視され、どこにも居場所が無いような日々が続きました。二度と思い出したくもない、けれど忘れることもできない辛い記憶。でも、いじめた人にとっては気にも留めないことだったのでしよう。

今もヘイトスピーチ、ネットへの悪質な書き込み、コロナ差別などの人権しん害が問題となっています。差別や攻撃の多くは、自分とは違うものへの無理解、偏見から生まれるように思います。誰の心にも差別の種はあるのかも知れません。私の心にも。

差別を無くすには、自分も相手も大事な存在なのだということを私たち一人一人が気づき、お互いの違いを超えてみとめ合うことが大切なのです。

私は祖母や曾祖母のように相手の優しさや悲しみに気づける人になりたい。お互いを尊重し合って生きる人間になれるよう努力したいと思います。



# 「中学生・高校生ICTカンファレンス」オンライン開催！

8月22日（日）、中高生がネットやスマホ、ICTの安心、安全な利活用について自ら考え、議論する「中高生ICTカンファレンス2021 in大分」が行われました。昨年に引き続き**オンライン開催**となった今年のカンファレンスには県内各学校や自宅などから24名の中高生が参加し、タブレットの画面ごしに熱い議論を交わしました。

今年度は「フェイクを見極める」をテーマに、ネットの特性を理解したうえで、フェイクを見極め、ICTを活用するにはどうすれば良いかをグループ毎に討議や発表を行い、審査の結果、大分東明高等学校の衛藤悠希さんが県代表に選ばれ、11月に東京で開催（予定）される全国大会に出場することになりました。

グループ討議や発表の場では、ネット利用を巡る課題や今後のネットやICTの活用について、参加した中高生から以下のような声がありました。

## ～ 参加した中高生の声 ～



多くの情報を確認して、その中から正しい情報を得るようにしなければいけないと思った。

悪いフェイクを減らすためには一人一人がルールを決めたり、名前を出して発信することが大切だと感じた。

ネットに載っている情報がどれくらい正確性があるか、ファクトチェックすることが大切だと感じた。

情報を発信することには責任が伴うことを知った。



ファシリテータの様子

### グループ討議する参加者



中高生の情報モラルが向上するように、国や地方がもっと周知活動をして欲しい！

フェイクを極めるために、間違った情報は発信しないモラルの向上と誤った受け取り方をしない正しい判断が必要だと感じた。

## 社会的自立に悩みを抱える子ども・若者の気持ちに寄り添い応援します！

大分県では、不登校やひきこもり、就労等の社会的自立に困難な悩みを抱える方々やそのご家族をサポートするため、相談窓口を設置しており、電話・メール・来所・訪問による相談が無料でできます。

誰もが抱えるさまざまな悩み事を、ひとりで、家族だけで抱え込まずに、まずはお気軽にご相談ください。

### おおいた子ども・若者総合相談センター

悩み相談の全般を受け付けます！

相談は**無料**です。  
悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください

まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。

mail : [info@oita-konet.net](mailto:info@oita-konet.net)

相談内容	不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般
受付時間	▶ 月曜日～土曜日 9:30～17:30
所在地	▶ 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル





# 市町村民会議の取組

## 別府市（別府市青少年育成市民会議）

別府市青少年育成市民会議は、市内17の旧小学校区ごとに組織された校（地）区青少年育成協議会によって構成されています。全ての青少年が安全で安心な環境の中で心豊かにたくましく成長し、活力あるまちづくりの担い手になることを目指し、校（地）区間の情報交換・交流や全市的な啓発活動等に取り組んでいます。

今年度は、中高生を対象にして、立命館アジア太平洋大学学長の出口治明氏に「これからの社会を生きる君たちへ～考える力の鍛え方～」をテーマに講演していただきました。参加者は会場・ライブ配信に分かれ、コロナ禍においての学びの在り方も考えていきました。

今後も、「地域の子どもは地域みんなで育てる」機運を高め、各校（地）区青少年育成協議会の連携と活動促進に取り組んでまいります。



リーダー研修会



運営委員会

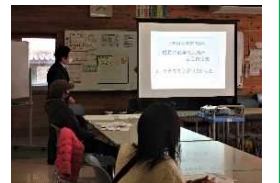
## 中津市（中津市青少年健全育成市民会議）

中津市青少年健全育成市民会議では、中津市内の21小学校の各校区において新入生の保護者を対象として、就学時健康診断及び入学説明会時に「校区子育て講座」を開催しています。この活動は、今までの子育てをふりかえるとともに、これから小学校に入学する子どもとの向き合い方や家庭教育のあり方などについて学ぶことを目的としています。元教職員や子どもの健全育成に経験豊富な方が講師となり、講演形式で行います。参加した保護者からは、「子育てのヒントがたくさんあった。日々一つずつ実行していきたい。」「『完璧でなくてよい』という言葉は、自分を見つめなおすきっかけになった。」といった感想をいただいています。

今後もこのような活動を通して、中津の子ども達が健やかに育つ環境づくりに努めたいと考えています。



豊田校区子育て講座



上津校区子育て講座



## 「少年の船の家2021」事前研修会実施

「大分県少年の船」は、今年も運航を中止としたため、陸上研修「少年の船の家2021」の実施を予定しています。本研修会に向け、8月7日～8日に、中高生班長・副班長、成年リーダーやスタッフ約50名が香々地青少年の家で事前研修会を実施しました。

事前研修会ではリーダー・班長・副班長のチーム作り、小学生団員をサポートするために、野外炊事の実践研修や、指導者育成の学習などを行いました。

参加した中高生からは、「研修で体験した楽しさを小学生団員にも味わってもらいたい。」「団員が安心して本研修に参加できるように、サポートしたい」などの感想が聞かれました。本研修会に向けたシミュレーションができ、充実した研修会となりました。

本研修は、当初9月4～5日に予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため10月9～10日に延期して実施する予定です。

# 県民会議加盟団体の活動

## 公益財団法人 大分県防犯協会 問い合わせ先 097-532-5979

公益財団法人大分県防犯協会は、犯罪の防止及び青少年の健全な育成並びに地域社会の健全な発展のための事業を行い、県民を犯罪から守って、明るく安全で安心して暮らせる大分県の実現に寄与することを目的として昭和60年に設立されました。

当協会の主な活動としては、地域安全意識の高揚を目的とした「安全・安心まちづくり県民大会」の開催や県民への情報発信としての広報紙「大分の防犯」を発行するほか、地区防犯協会や防犯ボランティア団体の防犯活動がより効果的に実施されるよう、防犯グッズやのぼり旗等の活動物品の支援を行っています。

また、毎年、地域安全活動、少年の非行防止や健全育成活動等の防犯功労が顕著な個人や団体に対して表彰を行うほか、「全国地域安全運動ポスター・標語」に対する審査と優秀作品に対する表彰を行っています。

その他、自転車盗難被害を防止するため、自転車防犯登録を推進しています。

今後も、犯罪の防止及び青少年の健全な育成等の事業に取り組み、明るく安全で安心して暮らせる大分県を目指して参ります。



パトロール隊街頭活動



ポスター優秀作品

## 学校法人ザイナスアカデミー 問い合わせ先 097-532-2803

学校法人ザイナスアカデミー（旧田北学院）は現在、田北調理師専門学校と田北ビジネス専門学校の2校を運営しています。田北調理師専門学校では青少年健全育成の一環として「食」を通じた活動を行っています。

食育を通して「食」の大切さを伝えるイベント、企業主催で小学生に「お魚」を身近な食材として知ってもらうための「さばける塾」では、魚についてのクイズ形式の講座や実際に包丁を使って魚をおろす実習、またそれを使用した料理作りまで体験でき、毎年大好評です。

その他にも規格外の野菜を使った商品開発を農家の方と企画をしたり、令和3年11月には地元地方紙と一緒に大分市内で若者や子供、その保護者らを対象とした食育講座も開催予定と地元根ざして幅広く活動をしています。

また伝統のある旧田北学院時代からつづく「府内清掃」は地域の環境美化と住民への感謝の意を込めて毎月第3金曜日の朝、行われています。この行事には留学生の多い田北ビジネス専門学校の学生も参加することがあります。

コロナ禍において例年のような活動は規模も回数も抑えられてはいるものの、今まで繋いできたこれらの活動の灯は消さないよう今後も取り組んでいきます。



さばける塾



府内清掃

## 更生保護女性会に入りませんか？

更生保護女性会は、女性の持つ優しさや温かさ、細やかさといった特性を生かした地域に根ざした活動をしており、多くの人たちの犯罪や非行からの立ち直りを支援してきました。

### このような活動をしています

#### ミニ集会

「家庭でのしつけ」「非行」などの身近なテーマについて地域住民同士で話し合っています。

#### 子育て支援

子育て中の親を対象に子育て相談、親子ふれあい行事などを行っています。

#### 更生保護施設をサポート

入所者の自立のための料理教室や「おふくろの味」の提供、生花や図書等の寄贈を行っています。

#### 社会参加活動・社会貢献活動への協力

保護観察を受けている人が行うレクリエーションや清掃活動・介護補助活動などに協力しています。

#### 刑務所や少年院での協力

受刑者への訪問活動や女子刑務所での浴衣の着付け、少年院における運動会への参加などを行っています。



更生女性会員のオコジョさん  
更生保護キャラクター

- 入会に特別な資格は必要ありません。
- 更生保護女性会の趣旨に賛同される方であれば、どなたでも参加することができます。
- 大分県内には、19地区の更生保護女性会があり、県内の会員数は、約1900名です。

興味のある方は、地域の更生保護女性会もしくは大分保護観察所へお問合せ下さい。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 TEL097-532-2053

